



## 佐川美術館「アートコラム」63 感情を動かす経験を子どもたちに

主任学芸員・馬場まどか  
 佐川美術館



子どものころに経験した、楽しかったり悲しかったり、感動した記憶を鮮明に覚えていたりしますよね。大人になって、同じことを経験してもそこまで記憶に残らないのは、感情が動く揺れ幅が子どもと大人で違うからかもしれません。

子どもは好奇心のかたまりですから、知らないことに対する発見、喜び、驚きのパワーは大人をはるかにしのぎます。人生経験がまだ浅い子どもたちにとっては、目の前にある一つ一つが真新しい発見の連続。全力で向き合うのだから、疲れ果てて早く寝てしまいうのも納得がいきます。知らないことに出会った時の喜びや驚きといった、感情を動かす経験は子どもの成長につながるはずですよ。

しかし、ライフスタイルの変化もあり、子どもたちの感情を動かす機会が徐々に少なくなってきたような気がします。核家族化や共働きも増え、子どもたちにかけてあげる時間をなかなか取れないとお悩みの人も多そうです。美術館では、そういった現状に寄り添えるような場を提供していきたいと考えています。子どもたちが本来持つ「感情を動かす力」は本人しか育むことはできませんが、そういったきっかけを提供する場として美術館のような教育普及施設をはじめ、地域社会にも、その役割が求められているのではないのでしょうか。

美術館では毎冬、おさま向けの展示イベントを開催しているので、ぜひこうした場を活用いただければ幸いです。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話(☎(585)7800)でお問い合わせください。

### 新・クルちゃんの No.121 つぶやま



#### ☑マークのあるスプレーボトル どうやって出したらいいかな?

材質がプラスチックでできていますが、中にはガスが入っています。ごみの収集および処理の安全性を確保するため、分別区分はカセットボンベ・スプレー缶として出してください。

#### 出し方

- 1 必ず使い切り、穴をあけてください。
  - 2 指定ごみ集積所(月1回)の専用容器(緑色)、市役所・各地区会館(平日執務時間中)の回収ボックスに出してください。
- ※市役所・各地区会館には、穴あけ器がありますので、ご活用ください。



#### ☑ごみ減量推進課

☎(584)4692  
 ☎(584)4818

ごみ分別  
 アプリ  
 配信中!



iOS版



Android版

### 消費生活センター情報

No.55

## くらしのたより

### もしもに備えるデジタル終活

デジタル遺品という言葉聞いたことはありますか。デジタル遺品に特別な定義はありませんが、一般的には「デジタル環境を通してしか実態がつかめない遺品」を指すと考えられています。例えば、スマートフォンやパソコンなどのデジタル端末は、そのもの自体は目に見えて手で触れることはできますが、内部に保存されている写真、文書ファイル、ウェブサイトの閲覧履歴、ネット銀行の口座情報などは、ログインしてデジタル環境に入らなければ実態はつかめません。これらが持ち主の死後、「デジタル遺品」になります。

デジタル遺品は他者から見えにくいという厄介な性質があります。遺族などが気付かないでいると、思い出の写真や動画、財産価値のある電子マネーなどが見落とされそのまま放置されることとなります。

万が一に備え、デジタル端末ごとにロックの解除方法、ID、パスワード、退会が必要なサイトを紙媒体でリスト化し、デジタル端末のデータリストがあることを信頼のおける人に伝えておく、エンディングノートに残すなど、家族に伝える手段を講じておきましょう。作成したリストは年に1回程度更新することで、実用性の高い備えとなります。

☑消費生活センター(生活支援相談課内)

☎(582)1146 ☎(582)1138